

# 一人から一人へ

## つむじ風

はじめに私が名前を書いて  
 そしてあなたにペンを渡し  
 ヒロシマの心 胸に刻んで  
 一人から一人へ 署名を広げよう  
 被爆者の願い 待ちつづけた日々  
 明日への希望かなえるとき  
 この地上から 核兵器すべてなくそう 今

これは、被爆者自らが核兵器廃絶を呼びかけている「ヒバクシャ国際署名」の批准を呼びかける歌として、うたごえ作曲家・園田鉄美、作詞作曲の『一人から一人へ』です。

署名行動の中で歌いながら、楽しく進めていければなと思います。私は新婦人の会員でもありますが、新婦人では、今年のNPT・NY行動への代表派遣も早くに代表が決まり、署名・カンパ行動に取り組んで来ました。毎週土曜日に市街で独自の署名活動をつづけて来ました。しかし今、世界的猛威を振るっている新型コロナウイルス感染拡大で世界中が苦難を強いられています。NPT派遣行動も中止になってしまいました。

今まで経験したことのない体験をしています。全てが自粛になり、私たちの取りくみや計画も多くが中止の中、私たち一人ひとは弱いもの、集い・語り・繋がってこそ元気が出る、力が湧いてくるのだとつくづく思う日々、いま日本中の人々の苦しみを安倍さんはなんと思っているのか厳しく問いたいですね。(小澤僖和子)

# 米軍コロナ感染問題で御殿場市役所に申し入れ！

### オスプレイに反対する東富士住民の会

オスプレイに反対する東富士住民の会（渡邊希一事務局長）は、4月6日、御殿場市役所以下のような要請行動を行いました。

- ① キャンプ富士内のコロナウイルス感染者数をキャンプ富士司令官に報告させること。
  - ② キャンプ富士内の隊員の基地外への外出を禁止すること。
- また海軍横須賀基地も3月26日、28日にかけて計5人の感染者が確認されたことを市に報告しています。他にも海軍佐世保基地や陸軍相模原住宅地からも感染が確認されています。

東富士演習場で大規模なオスプレイの訓練（3月29日、4月4日）実施の通知がありました。かつてない大規模な訓練に、地元も緊張しましたが、中止となる日が多くコロナウイルスの影響があるのではないかと強化することが大切です。(編集部)



No.60  
 2020年4月25日 発行  
 静岡市 平和委員会  
 静岡市葵区鷹匠 1-5-8  
 TEL 253-1854  
 FAX 252-0785  
 メール Peace-City@mail.707.to  
 ホームページ  
 https://shizuoka-shi-heiwa-iinkai.jimdofree.com

## 原因は地位協定にある

言われています。

問題は、米軍内の感染の実態が殆ど報告されないことです。この原因は、地位協定にあります。検疫についても明確な規定がないため、米軍の意のままになります。また米軍関係者の入国を拒否できません。日本の保健所が立ち入り調査することもできないのです。

3月18日、静岡県議会でも「日米地位協定の見直しを求める意見書」が全会一致で採択されましたが、「日米地位協定の抜本的改定を求める」運動を、宣伝や署名でますます強化することが大切です。(編集部)



今日、4月17日、「緊急事態宣言」の対象地域が全国に拡大された。新型コロナウイルスの感染者は、世界

全体で200万人、国内でも1万人を超えたという。感染者は、東京など首都圏や大阪・近畿圏など人口密集地だけでなく、他地域でも日増しに急拡大を続けている。ゼロは岩手県のみ。

テレビニュースなどで聞かれる街の声も、「宣言」の発出が「遅すぎた」とか、「やむを得ない」といった声がほとんどである。それは、いまやパンデミック状態となった新型コロナウイルスの急速な蔓延と、収束を見通しがたい状況を目の当たりにした市民の率直な気持ちではある。こうした想定を超える、途方もない危機に直面し、平穏な日常が脅かされそうになった時、人々は、これを強力で抑え込み、問題解決の手を素早く打ってくれる、何か「強権」の発動を期待するのは十分ありうることである。

そこには、コロナ禍に対する危機感の共有がある。

しかし10日ほど前、7都府県に「緊急事態宣言」が発出された時、何やら「うさん臭い」ものを感じた。それは、この政権が2014年の「特定秘密保護法」を手始めに、立て続けに安保法制、「共謀罪」法を強行制定し、引き続き改憲論議の中で、憲法に「緊急事態条項」を加えることを執拗に求めていたことにある。まさに「ナチの手法」である。9条を骨抜きにし、この国を「戦争のできる国」に仕立て変

## 新型コロナウイルスの考現学 ～佐藤 博明～

今日、4月17日、「緊急事態宣言」の対象地域が全国に拡大された。新型コロナウイルスの感染者は、世界全体で200万人、国内でも1万人を超えたという。感染者は、東京など首都圏や大阪・近畿圏など人口密集地だけでなく、他地域でも日増しに急拡大を続けている。ゼロは岩手県のみ。

「緊急」事態を理由に、政権の手で恣意的に制限され、それが社会的にも容認されるという事態である。かつて子供の頃目にした、おぞましい光景が蘇ってくる。

警戒すべきは、今回の経験が恰好の「実証実験」となり、その成功体験から一旦「国難」的事態とされた時、うむを言わず、権力がこうした措置を躊躇なくとることである。「緊急」事態を口実に、時の政権が議会の立法権と監視を無視して、憲法上の諸権利を一方的・強権的に制限する「大権」を手に入れたらならない。それは、国民の生存権を脅かす、狂暴な刃となりかねないからである。「いつか来た道」を許さないためにも、今回の「緊急事態」の性格とそこで行われる私権制限的措置の実態を監視し検証して、かつての時代、国民を無権利状態に陥れ、無謀な戦争に駆り立てた忌まわしい時代の再来を許してはならない。

先日、「国難へ「我慢」待てろ」口ずさみ」という朝日柳壇の一句に見入った。「・・・嵐が過ぎりや、帰る日も来る、春が来る」とつづく、戦後間もない頃歌われた、せつない望郷の歌、「異国の丘」である。

# ゆるすな！ 便乗改憲

安倍首相は憲法9条への自衛隊加憲とともに「緊急事態条項」の創設を狙ってきた。今、新型コロナウイルス



3月19日青葉公園前でオールしずおかアクション

の感染拡大に乗じて、自民党内で憲法に「緊急事態条項」を創設すべきだという議論が出ています。

この「緊急事態条項」は政府に権限を集中し、人権侵害の危険があると批判されてきたものです。このどさくさ紛れの便乗改憲策動は絶対に許すわけにはゆきません。アベを首相の座から引きずり下ろすためにも『アベ9条改憲NO！改憲発議に反対する全国緊急署名』を大きく拡げて行きましょう！

(三輪 矩正)

## 平和の本の紹介

### 「『独ソ戦』絶滅戦争の惨禍」

大木毅 (著) 岩波新書

数字に驚く凄惨な絶滅戦争

第2次世界大戦は、人類史上最も多くの犠牲者を出した悲惨な戦争だったが、とりわけ独ソ戦は、想像を絶する大破局だった。

それは、数字が物語る。ソ連の犠牲者(死者)は、およそ2700万人。ドイツの対ソ戦での犠牲者は、おそらくドイツ全体の犠牲者数(700万人～900万人)の過半数は超えていると思われる。

驚くことに、ナチスに投降したソ連軍の捕虜570万人でそのうち生還者は270万人、ドイツ軍の投降した捕虜260万人～350万人のうち約30%は死亡と言われている。捕虜の数にも驚くが、その中の死者の数と割合がすごい。

1942年のドイツ国内の外国人労働者は、400万人だったが、1944年末には、840万を超えたという。ソ連軍の捕虜、強制連行されたソ連やポーランドの労働者、ユダヤ人などである。強制労働の中で多くの人が命を落とした。

(ちなみに、アジア太平洋戦争の日本の戦没者は約310万人=十分すぎる悲惨さ)

この戦争は、ヒトラーにとって、ユダヤ民族、スラヴ民族を絶滅させる「皆殺しの闘争」だった。この特異な戦争目的が、ジェノサイド、収奪、捕虜虐殺を日常的に繰り返させた。そして、それに対して、ナチスと同列には論じられないが、ソ連側も報復感情を正当化しエスカレートさせ、国際法から逸脱していった。この本は、具体的な戦闘の推移を追いながら、絶滅戦争の実態を暴き出す。

(合戸 政治)

## 平和の動き5月



新型コロナ感染拡大を抑えるため、5月6日まで行動の自粛を呼びかけています。

7日(木) ヒバクシャ署名

東急前 12:00～

9日(土) 9の日行動

青葉前 12:00～

19日(火) オールしずおかアクション

青葉前 17:30～

29日(金) 9の日行動

青葉前 12:00～



## 私の好きな音楽

(2) ～ 宮 秀雄 ～

コロナ感染症での死者数増加止まらず。この第二次世界大戦以後の最大の不条理な犠牲者達を悼み今回はレクイエムについて。雑駁に言えばキリスト教での「お経」です。つまり死者を悼み人声く多声のラテン語での合唱によって歌われる。最初は約千年前のヨーロッパ、無伴奏(アカペラ)での「グレゴリオ聖歌」から始まった。後、2～8声へと複雑に進化発展してゆく。この人声だけの純粹のハーモニーに魅せられて退職後、合唱音楽の先進国イギリス、オックスフォードに短期留学した。地元のアマチュア合唱団に入れてもらい教会やカレッジチャペルで歌っていた。ジョスカン・デ・プレ、パレストリーナ、ヴィクトリア等ルネッサンス時代の作品中心に。静岡ではアカペラを歌う機会はない。国内の合唱団でも取り上げないので知られていない。しかし残響の長い空間に響く純正で澄んだハーモニーをせめてCDで味わってみてください。私はイギリスのルネッサンス時代の無伴奏専門プロ合唱団「タリススカラーズ」の夏期講習に4回参加した。4回目の夏、スペインのヴィクトリアのレクイエムを世界中から集まった受講生30人と共にマートンカレッジチャペル(天皇家の留学先)でも演奏した。私のお勧めはジョスカンの「ミサ・パンジェリంగా」(磐田バツハ合唱団在団中に浜

松や静岡の草深教会等でも歌った)とタリススカラーズ盤ヴィクトリアです。その後、バロックくろマン派へと器楽伴奏を加えてレクイエムは進化、発展してゆく。モーツァルト作は未完に終わるが死後、弟子のジュスマイアー補作で完成した。僕は東京、浜松、三島、磐田で歌っているがカトリックの信仰を持たない僕でも歌っていて涙が出てくる。フォーレ作は静謐な雰囲気の名曲。静岡では3回のみで残念。次回の機会はないか。ヴェルディ作は一時間以上かかる大作。数年前清水マリナートでの「静岡ヴェルディ合唱団」公演で僕も歌った。4人のソリストがオペラリアのようだ。ブラームスの「ドイツレクイエム」は母の死を悼んでドイツ語で作曲された。ヴェルディのような派手さはないが

地味ながら心に残る名作。ピアノ連弾で3回歌ったのみ。イギリスのブリテンの「戦争レクイエム」は第二次世界大戦後、約8千万人も犠牲者を悼み英語で歌われる大作。無神論者で無宗教の私は長年西洋音楽ばかりにとっぷりと浸ってきたのだが、いよいよ人生の末期を迎えた今、むしろ仏教に惹かれる。死後、偲ぶ会(僧侶抜き)では自分の声で録音した般若心経か、或いは僕も歌っているライヴ録音のレクイエムでも流してもらおうかな?しかし「父の歌声なんか聴きたくないよ」と家族には拒否される事必定。市営の沓谷霊園の合葬墓に入れてもらうつもり。たったの10万円でOKとの管理人の言葉。「予約したい」と言ったら「あなたは生きているから駄目ですよ」と言われた。合掌。

